



オブジェクト指向に基づくシステムの 要求定義・仕様記述・プロトタイプ開発

■ 教授 桑原 恒夫 ■ 理学部 ■ 情報科学科



キーワード

オブジェクト指向・UML・Web



オブジェクト指向に基づくシステム開発を種々行っており、その中で要件定義や仕様記述という上流工程の作業をUMLという世界標準の記述法で行っております。システム開発に慣れていない企業様の上流工程の技術指導、実施支援でお役に立てると思います。またご相談により、プロトタイプ作成もしくはそのお手伝いもさせて頂きます。なお、具体的なシステムのアーキテクチャはWebアプリケーションが中心になります。

勤務計画自動作成システム



誤答駆動型リアルタイムメンタリングシステム



英語読解学習支援システム



要求定義は単なる要求の取りまとめではなく、現在の業務フロー（AsIs）を分析し、見直し、新たなビジネスモデル（ToBe）の提案に繋げるものです。情報システムの優劣がそのまま企業の競争力に直結する時代になってきました。企業様と力を合わせ、世界的に競争力のある日本発のビジネスモデルの実現を目指していきたいと思います。

（ 今 後 の 展 望 ）

本研究室で今最も力を入れて開発しているシステムはe-ラーニングです。本研究室では、市販のe-ラーニングでは期待できない特別の教育効果を狙ったシステム（リアルタイムでの教員—生徒の交流を支援するシステム、文脈に沿って英語の文法や構文を解説するe-ラーニングシステム）を開発しています。また、様々な業種で利用可能なシフト勤務計画を自動作成するシステムも開発しています。これらのシステムにつきましては、事業化して頂ける企業様を探しております。

MESSAGE

実際の事業化に向けた応用研究を目指しております。本研究室のシーズの事業化はもとより、企業様のシーズを育てるお手伝いもさせていただきます。

I N F O R M A T I O N

- ・文章読解支援装置、並びに、注釈データ作成装置、注釈データ作成方法及び注釈データ作成プログラム 特願2015-131354
- ・情報探索用データ構造および情報探索装置、特許第4853797号
- ・西谷匠、杉山雄一郎、樋山聡、桑原恒夫：誤答に対する教師のリアルタイムでのアドバイスを支援するe-ラーニングシステム 電子情報通信学会論文誌 Vol.J9I-D, No.6,pp1538-1549 (2008)
- ・桑原恒夫、田中健史：教員のアドバイスを分析する機能を持つe-ラーニングシステムおよびそれを用いた教育結果 日本教育工学会論文誌, 37(1),pp89-96 (2013)
- ・遠藤祐司、桑原恒夫：様々な業種で利用可能な勤務計画作成支援システムの提案, グループウェアとネットワークサービスワークショップ 2014